

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	名寄市立大学（学部・学科等の課程）			設置者名	名寄市				
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和3年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
保健福祉学部	栄養学科	平成18年度	40人	栄教一種免	平成18年度	40人	9人	9人	5人
	社会福祉学科	平成18年度	50人	高一種免（公民）	平成18年度	53人	7人	7人	3人
				高一種免（福祉）	平成18年度			6人	
				特支一種免（知・肢・病）	平成18年度			4人	
	社会保育学科	平成28年度	50人	幼一種免	平成28年度	47人	47人	47人	11人
				特支一種免（知・肢・病）	平成28年度			33人	
入学定員合計			140人	合計		140人	63人	106人	19人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「学部・学科等の名称等」欄は、令和4年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。 								

教職課程認定大学の实地視察に対する講評

実地視察日：令和4年12月12日（月）オンライン

実地視察大学：名寄市立大学

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。今後は学科内だけでなく、大学として学科間で連携・協力する体制を充実させ、引き続き教員養成の水準の維持・向上に努めてもらいたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教育活動の目標に「ケアの視点をもった教員養成」を挙げているが、その目標を明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めてもらいたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

- シラバスにおいて、実際には必要事項を扱っていることが確認できたが、教職課程コアカリキュラムを満たしているかが判然としないものが見受けられた。また、見学した授業も教育職員免許法施行規則に規定する事項を踏まえたものになっているか判然としなかった。シラバスや授業について担当教員に任せるのではなく、全学的なチェック体制を確立することが望ましい。
- 学生が卒業後に教育現場で対応できるよう、アクティブラーニングを積極的に取り入れた講義になるよう改善を検討すること。
- 教職課程を担当する教員の業績の確認を採用時にのみ実施しており、また、教職課程に関するFD研修は実施していないとのことだが、教職課程を担当する教員に求められる内容は絶えず変化するため、教員が継続して研究業績を積んでいるかを確認する仕組みの構築や教職課程に関するFD研修の実施等、教員の質向上に向けた対応を検討すること。

3. 教育実習の取組状況

- 現場体験活動等を数多く取り入れており、学生の実践経験は蓄積されているように見受けられた。ただ、それぞれの実践経験が体系化していないため、学生が実践知を修得していないように見受けられた。実践知となるようそれぞれの現場体験活動の狙いを明らかにするよう検討すること。併せて、学内の授業で修得した理論知とのつながりを意識したカリキュラムとなるよう検討すること。
- 学生の経済的な負担軽減のため、教育実習にかかる交通費等を補助している点は評価できる。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 課程認定を有する各学科でそれぞれ教職指導をしているが、学科間で連携可能な部分がないかを検討していただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 近隣の教育委員会と小中学校の学習支援活動、及び近隣の高校と高大連携事業を実施している点は評価できる。これらの活動を継続するとともに、こういった事業にも学生が学校現場を経験する機会を確保できるよう努めていただきたい。
- 近隣の大学との連携について検討していただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- ICT 機器の整備が充分でないように見受けられる。学生が教員となり授業を実施する際には ICT スキルが求められることから、大学においても ICT を活用した授業が実施できるよう、環境整備に努めていただきたい。
- 学生数に対して教科書の蔵書が充分でないように見受けられるため、複数の出版社の教科書を揃える等、図書の充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 各学科における学生指導等は丁寧に行われているが、養成したい教員像が学科間で共有されていないように見受けられた。大学としてどのような教員を養成するのか、そのためにどのような教職科目を設けるかを今一度整理していただきたい。まずは各学科内で養成したい教員像について意思統一を図ること。また、教職課程全体的内容を把握できる学内組織の整備を検討の上、さらなる充実に努めていただきたい。